

下部大腸疾患を鑑別するにあたって、常に頭を悩ますのが本号で取り上げた腸管子宮内膜症である。病変の多くは粘膜層より下部にあるため、画像診断として種々の粘膜下腫瘍、悪性腫瘍の浸潤ないし転移、炎症などを考えておかなければならない。本号で提示された症例はいずれも病変部は見事な画像で表現されており、鑑別診断は容易である。しかし実際の臨床現場ではこううまくはゆかない。下腹部不定愁訴も女性に、うっかり過敏性腸症候群ですと告げようものなら、後で恥をかくのが本症である。まして虚血性変化や腹膜炎を

合併したときには、診断はお手上げとなる。

本症の診断には従来の注腸X線、内視鏡のほか、CT、MRI、超音波内視鏡などの画像は不可欠である。これらの知見を系統的に集積した報告がないだけに、本号の主題論文と主題症例は貴重であるし、これらをまとめた牛尾論文は読みごたえがある。今、世間を騒がせているダイオキシン汚染によって環境ホルモンに変化が及び、その結果、本症が増加することが危惧されている。したがって本号に掲載された諸画像を十分に理解しておき、今後の臨床に役立てていただきたい。

胃と腸

10月号（第33巻・第11号）予告

発売予定

10月25日

定価（本体2,100円＋税）

主題／早期大腸癌の組織診断—諸問題は解決されたか

序説	……………国立がんセンター中央病院・臨床検査部	下田 忠和
主題	早期大腸癌の組織診断基準—その差は縮まったか/症例検討 〈組織標本診断者〉……………石黒 信吾・岩下 明德・加藤 洋・小池 盛雄 下田 忠和・中村 恭一・八尾 隆史・渡辺 英伸 〈まとめ〉……………新潟大・1病理 渡辺 英伸	
座談会	早期大腸癌における病理診断の諸問題は解決されたか……………福岡大筑紫病院・消化器科	八尾 恒良・他
症例からみた読影と診断の基礎	[Case 36]……………JR 仙台病院・消化器内視鏡センター	三島 利之・他
	[Case 37]……………大阪医大・2内	平田 一郎・他
早期胃癌研究会症例	乳頭部近傍で深部浸潤した結節集簇様表層拡大型十二指腸癌の1例……………播磨病院・内科	藤澤 貴史・他
	localized hyperplastic gastropathy (mucosal cell type) の1例……………広島市立安佐市民病院・内科	眞部 紀明・他
	粘膜下腫瘍様の形態を呈した大腸癌の1例……………順天堂大・消内	大野 康彦・他
	早期癌を合併した胃腸局性若年性ポリーポシスの1例……………広島大・1内	北台 靖彦・他
	十二指腸原発早期 follicular lymphoma の1例……………新日鐵室蘭病院・消化器科	勝木 伸一・他

胃と腸（第33巻 第10号）

編集 早期胃癌研究会

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

FAX (03) 3815-7802

E-mail: itocyo@nna.so-net.or.jp

1998年9月25日発行(毎月25日発行)

1部定価(本体2,100円＋税)(配送料124円)

1998年年ぎめ予約購読料29,600円

(増刊号4,400円を含む13冊)(送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印刷所 永和印刷(株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎ (03) 3814-5771

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1998, Printed in Japan.
- 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。
-  <日本複写権センター委託出版物・特別扱い>
- 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター(03-3401-2382)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp> (担当)小松原・小長谷・小林・長谷川